



テクノロジーの力で、

地球を小さく、

世界をもっと近く

2024年度

実施効果報告レポート

【事業者名】
ジョイズ株式会社

【サービス名】
① TerraTalk(基本料金)
② 教材(Language Coreシリーズ)
③ 教材(シチュエーション別実用英語)

【支援項目】
①②③ 授業、授業準備、成績処理

2025年1月

TerraTalk

- ❖ AI技術を活用した**教育機関向け** 英語学習サービス
- ❖ 指導要領や検定教科書に準拠しており、
一斉授業で**足並みを揃えながら個別最適な学び** ができる
- ❖ 日本向けに独自開発した発話評価エンジンで、
生徒の発音やイントネーション をフィードバック

地球を小さく、世界をもっと近く

累計ユーザー数:80万人※

採用自治体数:128※

※2024年4月時点

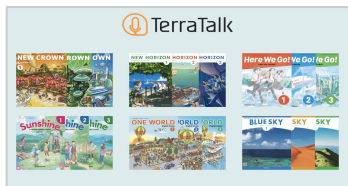


[詳細はこちら](#)

主要な教材パック

学校ごとのニーズに合わせて、複数の教材を組み合わせ導入可能！
小5から大人まで。1ヶ月単位でご利用できます

教科書準拠パック



中学全6社、小学校2社
(東京書籍、光村図書)に対応。
本文音読練習や進出単語を
4技能別に学習可能

Language Coreシリーズ



指導要領を念頭に、
様々なシチュエーションを
想定したAI英会話を実践！

英検対策パック



英検® 対策

5級から準1級の1,2次試験に
対応。(1次は準2級まで)
一人でいつでも何度でも、
英検の模擬練習ができる

英語教育の主な現場課題



スピーキング活動に対して
個別に的確なフィードバックを
行える教員・ALTが足りない



児童生徒が発話練習を
恥ずかしがり、
ペアワーク等が進まない



一人ひとりの
英語学習状況・成果を効率的に
見取る方法がわからない

TerraTalkが選ばれている3つの理由

01.

教科書や指導要領に準拠。
一斉授業で足並みを揃えながら
AI英会話 & 個別フィードバックが可能

02.

先生が配信した宿題を活用して、
自宅で恥ずかしがらずに会話練習ができる

03.

PCがニガテな先生でも安心して使える
シンプルな管理画面を提供



学校等設置者 2件

自治体:2件



利用ユーザー 1,578名

児童:222名
生徒:1,326名
教職員:30名



学校等教育機関 4校

小学校:公立1校
中学校:公立3校

島根県江津市立江東中学校 様

利用教材: シチュエーション別実用英語
Language Core: Junior High School
Language Core: Universal

導入規模: 中学校1~3年生、生徒26名 + 教職員2名

実績・事例: 授業の範囲とリンクさせて課題を配信しました。**授業準備 + 成績処理の支援**
文法定着をめざし、声に出して身に付ける会話、音読練習や語順問題を選択。
完了率、正答率、提出状況を教員用管理画面から簡単に確認可能。



ID	氏名	完了日	完了数	正答率
G6019	阿部	-	0 / 3	0%
G6018	横田	24/11/22	3 / 3	100%
G6017	森下	-	2 / 3	38%
G6016	松田	24/11/22	3 / 3	88%
G6015	渡北	24/11/22	3 / 3	88%
G6014	永井	24/11/22	3 / 3	100%
G6013	土屋	24/11/22	3 / 3	100%

生徒名

兵庫県西宮市立甲陵中学校 様

利用教材: シチュエーション別実用英語
Language Core: Junior High School
Language Core: Universal

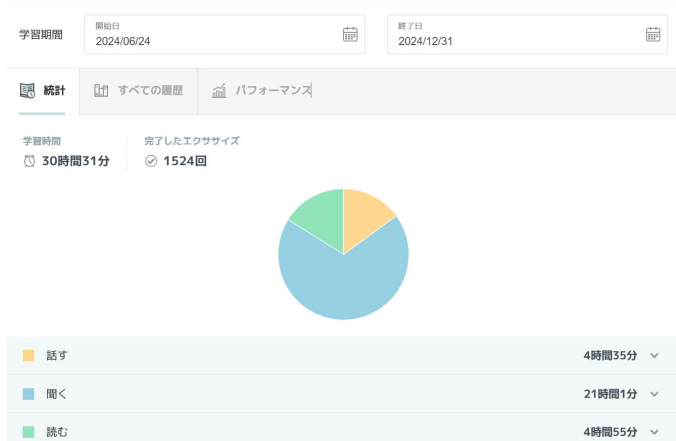
導入規模: 中学校1~3年生、生徒685名+教職員7名

実績・事例: TerraTalkで自己調整しながら学習する生徒。月の平均利用時間が時間という生徒も。

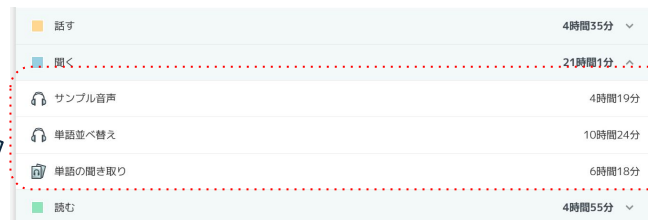
(成績処理の支援)

主体的に学習に取り組む、「聞く」学習に注力していることが学習履歴から読み取れます。

会話練習問題については生徒の録音をいつでも確認可能。



「どの学習にどれぐらい時間をかけているか」を見える化
図の生徒は、「聞く(単語並び替え)」に時間をかけて取り組んでいる様子が見て取れます。

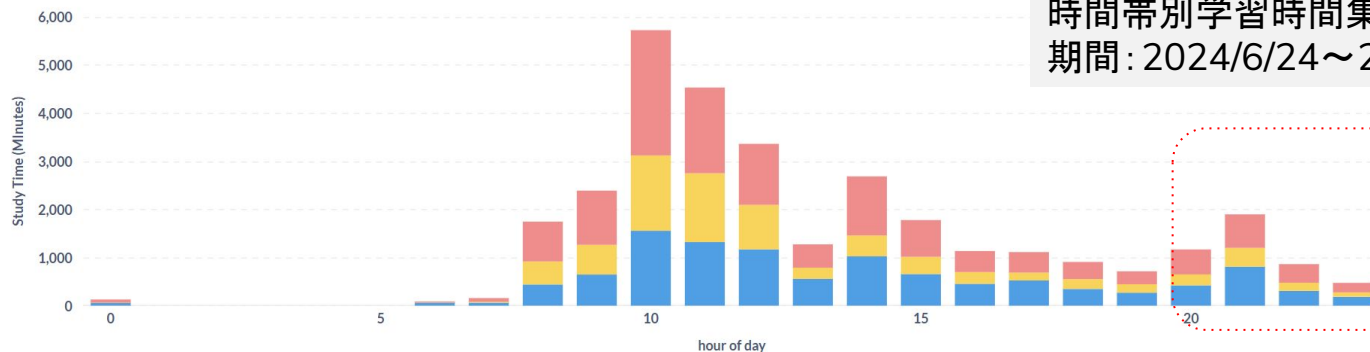


01

利用データからみる成果

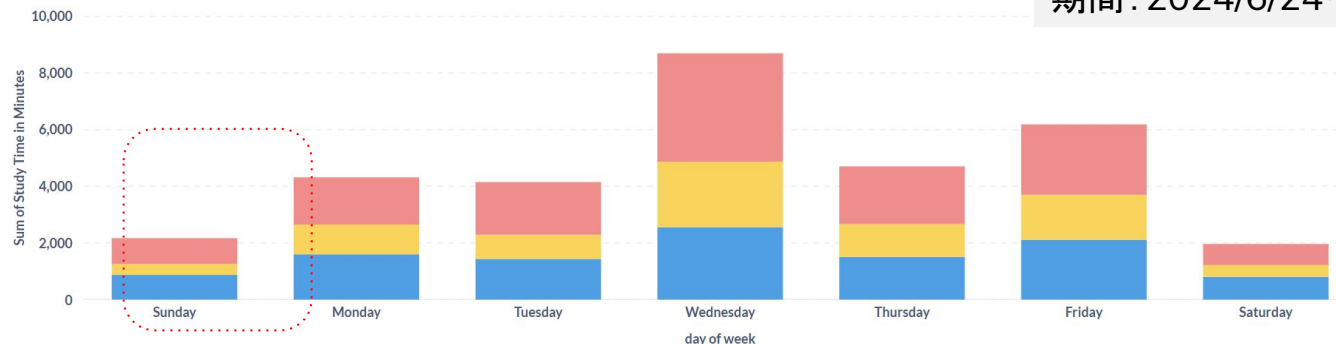
AI発話評価や英会話練習を土日・放課後に導入。

● Listening ● Reading ● Speaking



時間帯別学習時間集計(分)
 期間: 2024/6/24~2024/12/31

● Listening ● Reading ● Speaking



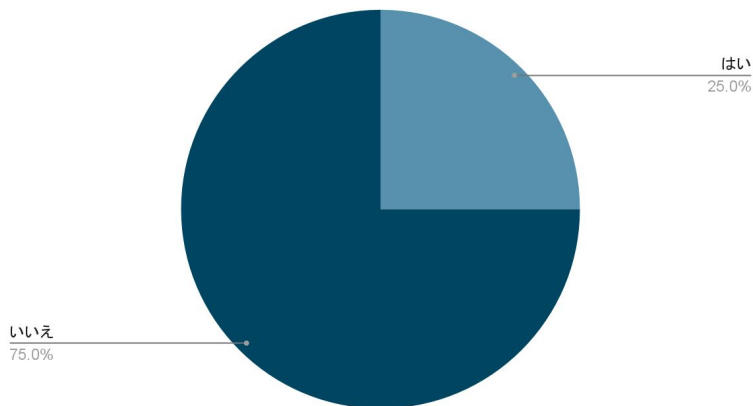
曜日別学習時間集計(分)
 期間: 2024/6/24~2024/12/31

02

導入効果報告より

- **参加校の75%(3校)**が、TerraTalkを活用することで学内総勤務時間の**削減につながらなかったと回答**。
- 「いいえ」と回答した教員は「**自主学习として利用**」「**教科書との対応のわかりづらさ**」を理由として挙げている。

今回のサービス導入によって、学内総勤務時間の削減につながりますか。



「いいえ」にチェックを入れた場合は、**300文字程度で以下に理由を記載ください。**

- 児童の自由な自主学习として導入した為、教員の仕事量には影響していないから。
- 利用できるコンテンツが教科書準拠の内容ではなく、期待していた内容とは大きく異なり、授業内で利用する場面がほとんどなかった。
- 生徒には家庭で+αの学習として個人で自由に利用するよう案内した。そのため、従来の課題等を変更することはなく、TerraTalkの利用が勤務時間の削減につながったとは考えにくい。

回答者：実証参加4校の教員

課題	改善策
AIサービスということもあり、教員の「既存業務の置き換え」ではなく、「新規業務」としてのポジションだった	<ul style="list-style-type: none"> ●単元計画、指導案作成の補助ツールやコンテンツの作成 教科書の内容や指導者の意図にあった、該当コンテンツを検索しやすくすることを目的とする。
教科書の内容との対応が、教員側からわかりづらい	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者からよりアクセスしやすいサポート体制の構築 授業改善や新規ツール導入初期は教員側の業務負担が大きくなるため、いち早く操作や利用に慣れるために気軽に質問できる状況を構築。

児童生徒

自律的な学びの促進

教員：児童生徒の比率に関わらず、AIからのフィードバックをもとに適切に学習を進めることができます

- (AIが)言葉を返してくれるので、とても勉強に励むことができる
- 何回でも、(問題内容を)聞くことができるので、とてもいいと思います
- 厳しく採点されていいと思う

コンテンツに対する要望

「スキマ時間での学習」「幅広い英語スキルに対応できる機能」が求められています

- 短い時間で解くために一回の問題数を減らすともっといいと思う
- (AIとの会話問題にて)字幕ありかなしかを設定したいです

*児童生徒フィードバックより抜粋

教職員

発展的な学びを提供

授業内容の習得や家庭学習として、学びを深める役割でご活用いただきました

- (授業中)時間に余裕が出来たときに、各自で自由に利用させています。
- 長期休暇の課題として利用した際に、一部の生徒に意欲的な取り組みが見られました。

導入負担軽減に対する要望

新しいツールを導入する際の現場負担を考慮した、システム改修やサポートの見直しが求められています
※来年度より、Google, Microsoftのシングルサインオンを実装予定

- 「ID・パスワードがわからない、紛失した」という生徒が多いため、普段生徒がタブレットの起動に使用している IDをそのまま TerraTalkログインに利用できれば、導入時の負担削減につながると感じます
- (コースによって)問題数が多いため、授業内の限られた時間内で取り組ませるのが難しい時があります

*教員アンケートより抜粋

会社名

ジョイズ株式会社

代表

柿原祥之

設立日

2014年10月

住所

東京都港区三田2-14-5 810

資本金

4.2億円

事業内容

AI英語学習クラウド「TerraTalk」の
開発・運営

問合せ先

ジョイズ株式会社(代表)
enquiry@joyz.co.jp / 03-6804-3190

資料請求はこちら

